

(別紙 3 様式第10号)

活 動 計 画 書

【記載例】

令和〇年〇月〇日策定

〇〇活動組織

森林・山村多面的機能発揮対策交付金に係る活動計画書

1. 組織名

〇〇活動組織

2. 所在地

和歌山県〇〇市〇〇町 1-2-1

3. 地区の概要、取組の背景・取組の概要、地元の自治体、自治会、集落等のニーズに対応するなど地域の活性化への寄与等

具体的に記載。〇〇市〇〇地区は・・・により、集落で先祖代々守り続けている〇〇の森が荒廃してきた。このため、地域住民とNPO法人が「〇〇活動組織」を設定し、〇〇の森を整備し、地域住民の絆の森とし、地域の活性化を進める。

4. 取組概要

具体的に記載。〇地区にある〇を中心とした広葉樹林について〇〇活動組織のメンバーによる雑草木の刈払い、集積、処理場までの運搬を実施。整備後に〇を植林、遊歩道の整備（一部急峻フィールドについては作業委託を実施。0.5ha）。また、一部のフィールドにおける孟宗竹の除去を実施し、チップパーによる処理後遊歩道へ敷設する。対象林地内に炭焼き小屋を整備し、フィールド内の0.5ha から炭及び薪ストーブ用の原木の間伐を行う。

5. 構成員の概要

※構成員の居住地（どのような地域から参加しているか）、職種、経歴、所属団体等、構成員の多様性がわかるように記載すること。

〇〇活動組織は、主に〇〇市〇〇地区の住民が集まった組織であり、構成員40名のうち35名が同地区の住民である。その他の構成員は〇〇市内他地区が4名、県外1名となっている。本活動組織は地域の住民を核に作られた組織であるため職種は林業、自営業、事務等様々である。所属団体については、森林関係のNPOに所属している者が10名、環境保全に関する市民団体8名などからなる。

6. 年度別スケジュール

3年間の取組作業内容、面積、資機材購入予定等記載

取組概要	令和5年度		令和6年度		令和7年度	
1. 活動推進費	林況調査及び活動についての詳細な打合せ		活動推進費は初年度のみ。			
2. 実践活動						
A-1地域環境保全タイプ (里山林保全)	雑草木の刈払い、集積、処理	3.0 ha	雑草木の刈払い等保全管理	3.0 ha	雑草木の刈払い等保全管理	3.0 ha
A-2地域環境保全タイプ (侵入竹除去、竹林整備)	侵入竹の除去、チップ処理	0.2 ha	侵入竹の除去、チップ処理	0.5 ha	侵入竹の除去、チップ処理	0.5 ha
B 森林資源利用タイプ		ha		ha		ha
C 森林機能強化タイプ		ha		ha		ha
	作業道の作設・補修	100 m		m		m
2-1. 間伐等(除伐・枝打ちを含む)実施面積 人工林だけでなく天然林や竹林についても入れること		3.0 ha		4.0 ha		4.0 ha
2-2. 活動を始める時点で長期にわたり手入れをされていなかったと考えられる里山林を整備する面積 施業履歴等を確認する必要はなく、荒廃している等の場所であれば面積を記入すること。このとき、面積はおおよその面積で記載し測量等を行う必要はない。		2.0 ha		1.0 ha		ha
D 関係人口創出・維持タイプ	関係人口との森林保全管理活動	1				
3. 資機材・施設の整備等	チェンソー1台、刈払い機1台、林内作業車1台					

- ※1 延長には森林調査・見回りを除く。
- ※2 2のCの森林機能強化タイプの森林面積については、スケジュールの期間内に地域環境保全タイプ又は森林資源利用タイプにより森林整備を実施する面積を記載する。
- ※3 2-2については、2年目以降はその前年度までの活動により該当する里山林の整備を実施している場合はその里山林の面積を除外し、その年度に新たに該当する里山林の整備を実施する面積を記載する。
- ※4 2のDの関係人口創出・維持タイプについては、年度毎の実施内容を記載する。

7. 活動の目標と活動結果を測定するためのモニタリング調査方法（地域環境保全タイプ及び森林資源利用タイプについて記載）

「目標」欄に目標値（数値）を記載すること

タイプ名	目 標	モニタリング調査方法
里山林保全	人工林をきれいにしたい 相対幹間距離2ポイント以上改善	100㎡の円形調査区
侵入竹除去・竹林整備	タケノコが利用できる竹林に整備する。竹の本数を1haあたり2500本～4000本程度にすることを目安。	竹の本数調査 【調査区面積】 25㎡ の方形調査区 【調査項目】竹の本数

目標の設定及びモニタリング調査方法の記載については、別に定めるガイドラインを参考とすること。↓

木の国協議会ホームページの各種ダウンロード＜各種申請書作成に向けた参考資料にある「モニタリングパンフレット」「モニタリング調査ガイドライン」を参考にしてください。

8. 年度別に実施する安全講習等の名称及び内容

年 度	講習の名称	講習の内容
令和5年度	安全講習会	刈り払い機、チェーンソー等動力機械に関する知識、操作方法について学ぶ。 また、振動障害及びその予防に関する知識について習得する。
令和6年度	伐倒安全講習会	〇〇森林組合から講師を招いて会員に向けた講習会をする。
令和7年度	安全講習会	刈り払い機、チェーンソー等動力機械に関する知識、操作方法について学ぶ。 また、振動障害及びその予防に関する知識について習得する。

(注) 安全講習等は、対象森林内で実施するものを記載すること。

具体的な装備、保険の名称を記載すること。

9. 安全のために装備する物品及び傷害保険の名称

<p>【安全のために装備する物品】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保護帽（あごひも）・イヤーマフ（耳栓） ・防振手袋、腕カバー・作業用防護ズボン ・スパイクつき安全靴、安全足袋 <p>【傷害保険の名称】（例）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グリーンボランティア保険（特定非営利活動法人 森づくりフォーラム） 	<p>傷害保険の加入は必須です。</p>
---	----------------------

10. 4年目以降の活動（森林管理）計画

<p>4年目以降も〇〇の森の保安全管理を継続して実施。また、近隣の都市住民からも幅広く維持活動に協力していただける活動を継続し、地域の里山を維持・発展させる予定。</p>

11. 計画図（協定の対象としている区域の図面）

取組の実施箇所の森林計画図を添付すること。森林計画図がない場合は、対象森林の面積が分かる縮尺5,000分の1以上の図面を添付すること。添付した図面に、計画期間中の各タイプの活動内容及び森林経営計画の策定の有無を図示すること。また、森林機能強化タイプにおいては、改修等を実施する路網や鳥獣被害防止柵を図示すること。

森林簿（森林資源情報）、森林計画図は和歌山県庁林業振興課、各振興局担当課で閲覧・入手できません。https://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/070600/jyouhou_teikyou/index.html

12. 持続性向上に向けた取組

<p>地元自治会と連携して、定期的にボランティア等を募り、森林整備を継続して実施する。</p>

※ 活動する人材の育成や確保、活動経費の確保など、活動組織が本活動計画終了後も活動を継続していくために行おうとする取り組みについて記載する。

13. その他

(1) 写真

取組の実施箇所に長期にわたり手入れをしていなかったと考えられる里山林がある場合はその写真を添付すること。

荒廃した様子が分かる代表的な写真を1~2枚程度添付すること。

(2) 収入

会費、林産物収入など森林・山村多面的機能発揮対策交付金以外の収入を記載すること。

会費の徴収がないと採択の対象にならないため、組織規約（別紙2様式第8号第15条）と併せて記載すること。

・会費 2000 円/年×〇〇人=〇〇〇〇〇円 ・薪販売収入 年間 10 万円 など

(3) 委託

取組を委託する場合は、次を記載すること。

活動計画における取組についての委託

- ・委託機関名 〇〇森林組合
- ・連絡先（電話番号等） 〇〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇
- ・委託時期 令和〇年〇月から令和〇年〇月まで
- ・委託内容（委託する区域の林小班、委託業務の内容（面積、作業の内容）等）
〇〇は急傾斜地のため、間伐作業を委託
- ・委託金額 金 200,000 円

*委託は危険を伴う作業や専門的な技術が必要な場合、活動の一部をプロの力を借りる事である。見積り書添付。委託契約時に必要な書類（契約書、仕様書等）、施業完了時に必要な書類（活動記録、写真整理票、完了報告書、請求内訳書等）